

DIA

2成分形弱溶剤系錆止め兼用ウレタン樹脂塗料

ダイヤ ナチュラルウレタンSG

ダイヤナチュラルウレタンSGは
防錆機能を付与した金属面塗り替え用塗料です。
軽度な発錆であればケレン後の錆止めプライマーの工程を省略できます。

防錆性

省工程

■包装単位

ダイヤナチュラルウレタンSG・・・・ 15kg (A液:13.5kg/B液:1.5kg) セット

ダイヤシンナーN・・・・・・ 16^{リットル}缶

■施工・保管上の注意点

【塗装面の調整(新設)】

①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レタンス等を完全に除去して下さい。

②雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。

【塗装面の調整(新設・改修共通)】

①屋上防水、目地排水など水の浸透が予想される箇所については、事前に十の点検し適切な処置をして下さい。

【塗装面の調整(改修)】

①各現場の改修工事仕様に基き劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行って下さい。

②脆頭層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。

③チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。

④既存塗膜の種類によりリフティング(シワ)を生じることがありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認して下さい。

【材料の保管・管理】

①開封した材料は必ず密閉し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。

②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

③下記の製品は危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。

ダイヤナチュラルウレタンSG、ダイヤシンナーN

④硬化剤は湿気で硬化しますので、使用後は密栓して保管して下さい。

【施工】

①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合は、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。

②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。

③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないよう注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ります。

④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。

⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。

⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。

⑦施工にあたっては、同一方法で、入隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。

⑧同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。

⑨施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。

⑩本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。

⑪希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に曇色や下地の吸い込みがない場合は少なめに希釈して下さい。

⑫常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。

⑬安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。

⑭一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。

⑮塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。

⑯フッ素や無機系などの難接着塗料が塗られている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。

⑰可使用時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。

⑱使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。

⑲濃色や原色に近い色の場合、強くすると色が取れる場合があります。

⑲下地の吸込ムラにより色彩のムラが発生する場合があります。

⑳シーラーと上塗り混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの共用は避けて下さい。

㉑上塗料を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。

㉒ダイヤナチュラルウレタンSGは2液タイプですので、小分けする場合は割合割合を厳守し、十分混合して下さい。又、混合したものは可使時間の内に使い切って下さい。

【安全衛生上の注意】

㉓取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。

㉔取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。

㉕子供の手の届かない所に保管して下さい。

㉖作業中・作業後は十分換気を行ってください。

㉗廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

㉘目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

㉙誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。

㉚中身を使い切ってから廃棄して下さい。

㉛皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。

㉜臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

【その他】

㉝その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。

㉞施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認ください。

㉟施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認ください。

ダイヤナチュラルウレタンSG

■標準施工工程

工 程	材 料	調 合 割 合	所 要 量	塗回数	乾燥時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	(1)下地調整は塗装面の錆の発生状況によって異なりますので、下図の判断基準を参考に既存塗膜実施して下さい。 (2)著しい膨れ、割れ、浮きなどは周辺部を含めて入念に除去して下さい。 (3)発錆は電動工具・手動工具を用いてSPCC-SP3(SISSt3)まで除錆して下さい。 (4)素地に付着している塵、汚れ、油脂類等を完全に除去して下さい。 (5)雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。 (6)施工面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2	上塗材 (1回目)	ダイヤナチュラルウレタンSG A 液 B 液 ダイヤシンナー N 刷毛・ローラー	13.5kg 1.5kg 0.8～1.5 ^{リットル}	0.12～0.17kg/㎡ 88～125㎡/セット	1	—	2時間以上 7日以内	中毛ローラー 刷毛
3	上塗材 (2回目)	ダイヤナチュラルウレタンSG A 液 B 液 ダイヤシンナー N 刷毛・ローラー	13.5kg 1.5kg 0.8～2.3 ^{リットル}	0.12～0.17kg/㎡ 88～125㎡/セット	1	—	—	中毛ローラー 刷毛

※ 乾燥時間は、標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。

※ 下図の判断基準を参考に適用して下さい。

※ ダイヤナチュラルウレタンSG調合後の可使用時間は、約8時間(23℃)です。

※ 希釈割合は上塗り1回目と2回目では異なります。

下図、A-1、A-2 のような錆が確認される場合、又は雨掛りのある部位など腐食環境が厳しい場合は、工具を用いた除錆等、十分な下地調整の上、ダイヤハイエポプライマー、ダイヤヒスイエポサビ #100、ダイヤヒスイエポサビ #200A のいずれかによる下塗りを行って下さい。



A-1



A-2

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせは
 ホームページのお問い合わせフォームよりお願い申し上げます。
<https://jpn.sika.com/ja/system/contact-us.html#construction>



('25.7月現在) '25.7.200 SJ